

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者様に、日ごろから尊厳を持ってケアに当たっているつもりでいるが、馴れから声掛けや支援動作が適切でない場面がある。	利用者個々の尊厳、プライバシーに配慮した支援をする。	①支援動作を行うに当たって必ず声掛けをし、確認をしてもらってから支援する。 ②食事エプロンは、配膳があってからかける。 ③排泄や入浴、日常会話など、尊厳及びプライバシーについての勉強会を実施する。 ④介護倫理・プライバシーについての勉強会を実施する。	12ヶ月
2	48・49	重度化の中で、利用者様個々の役割や楽しみごとに支援が十分にできていない。併せて外出する機会が少なくなっており、気分転換等ができない。	重度化しても、生活が楽しめるような環境を作る。	①「お楽しみクラブ」などを継続し、利用者様が主役の日を作る。楽しみとなるような活動や行事を増やしていく。 ②寒い時期を除いて、日常的に近隣の散歩を取り入れる。 ③行事ではなく、少人数のドライブの回数を増やす。 ④外出や関わりの時間など、利用者様が家族と過ごすことが出来るよう、協力を依頼する。	12ヶ月
3	40	人手不足や休憩時間との関係から、行事を除いて利用者様と一緒に食事を食べることが出来ていない。そのため、家庭的な会話をたのしみながらの食事環境となっていない。	職員が食事を一緒に食べ、食事の雰囲気共有する。	①職員で話し合い、一緒に食事ができるよう業務や休憩時間の見直しを行う。	12ヶ月
4	26	状況の変化やカンファレンスで話し合った内容がケアプランに十分反映されていない。	状況に応じたケアプランを作成することで、支援内容の充実を図る。	①基本情報の整理、再アセスメントを実施。 ②ケアプラン・モニタリングについての勉強会を実施する。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。